

## 【茶杓の銘（ちゃしゃくのめい）】

茶杓はお点前の用途としてはお抹茶をすくうための匙（さじ）ですが、もうひとつ重要な役割があります。それは「銘（めい）」という名が付けられており、この銘によって亭主の趣向や意図を表現することが出来るため、茶席ではとても重要な役割を果たしています。

月ごとに代表的な銘をまとめたので今後のお稽古に役立てて頂ければ幸いです。

### ■季節の銘

#### 【1月】

- ・若水（わかみず）
- ・松の内（まつのうち）
- ・曙（あけぼの）
- ・朝日（あさひ）
- ・彩雲（さいうん）
- ・千歳（ちとせ）
- ・高砂（たかさご）
- ・千代の友（ちよのとも）
- ・千代の栄（ちよのさかえ）
- ・宝珠（ほうじゆ）
- ・福寿草（ふくじゆそう）
- ・初霞（はつがすみ）

#### 【2月】

- ・下萌（したもえ）
- ・鶯笛（うぐいすぶえ）
- ・春暁（しゅんぎょう）
- ・草萌（くさもえ）
- ・春光（しゅんこう）
- ・春雪（しゅんせつ）
- ・春霞（はるがすみ）
- ・春駒（はるこま）
- ・谷渡（たにわたり）
- ・紅梅（こうばい）
- ・梅が香（うめがか）
- ・東風（こち）
- ・淡雪（あわゆき）
- ・雪峰（せっぽう）
- ・雛鶴（ひなづる）
- ・一陽来復（いちようらいふく）

#### 【3月】

- ・春風（しゅんぷう）
- ・朧月（おぼろづき）
- ・東雲（しののめ）
- ・青柳（あおやぎ）
- ・帰鷹（きがん）
- ・引鶴（ひきつる）
- ・菜種梅雨（なたねつゆ）
- ・早蕨（さわらび）
- ・花車（はなぐるま）
- ・花衣（はなごろも）
- ・山霞（やまがすみ）
- ・花の影（はなのかげ）
- ・春うらら（はるうらら）
- ・春一番（はるいちばん）
- ・曲水（きょくすい）
- ・土筆（つくし）

#### 【4月】

- ・春眠（しゅんみん）
- ・花冷（はなびえ）
- ・八重霞（やえがすみ）
- ・八重桜（やえざくら）
- ・花明（はなあかり）
- ・夜桜（よざくら）
- ・吉野山（よしのやま）
- ・花吹雪（はなふぶき）
- ・花錦（はなにしき）
- ・花筏（はないかだ）
- ・葉桜（はざくら）
- ・胡蝶（こちょう）
- ・花の雲（はなのくも）
- ・董（すみれ）
- ・雲雀（ひばり）
- ・若竹（わかたけ）



## 【5月】

- ・五月雨 (さみだれ)
- ・玉苗 (たまなえ)
- ・草笛 (くさぶえ)
- ・若楓 (わかかえで)
- ・新緑 (しんりょく)
- ・薫風 (くんふう)
- ・苔清水 (こけしみず)
- ・雲の峰 (くものみね)
- ・青雲 (せいうん)
- ・青々 (あおあお)
- ・石清水 (いわしみず)
- ・五月晴 (さつきばれ)
- ・清流 (せいらゆう)
- ・早乙女 (さおとめ)
- ・杜若 (かきつばた)
- ・早苗 (さなえ)
- ・緑風 (りょくふう)
- ・八橋 (やつはし)
- ・唐衣 (からごろも)
- ・青葉 (あおば)

## 【6月】

- ・瀑布 (ばくふ)
- ・清涼 (せいらゆう)
- ・紫陽花 (あじさい)
- ・田毎の月 (たごとのつき)
- ・涼一味 (りょういちみ)
- ・浦風 (うらかぜ)
- ・露草 (つゆくさ)
- ・雨宿り (あまやどり)
- ・緑陰 (りょくいん)
- ・山法師 (やまぼうし)
- ・螢船 (ほたるぶね)
- ・せせらぎ
- ・清遊 (せいらゆう)
- ・空梅雨 (からつゆ)
- ・螢狩り (ほたるがり)
- ・洗心 (せんしん)

## 【7月】

- ・七夕 (たなばた)
- ・残月 (ざんげつ)
- ・夕涼み (ゆうすずみ)
- ・氷室 (ひむろ)
- ・天の河 (あまのがわ)
- ・夕凧 (ゆうなぎ)
- ・夏衣 (なつごろも)
- ・涼み船 (すずみぶね)
- ・銀河 (ぎんが)
- ・山清水 (やましみず)
- ・青田 (あおた)
- ・笹船 (ささぶね)
- ・夏木立 (なつこだち)
- ・涼風 (りょうふう)
- ・涼扇 (りょうせん)
- ・雲の海 (くものうみ)

## 【8月】

- ・蟬時雨 (せみしぐれ)
- ・苔筵 (こけむしろ)
- ・流星 (りゅうせい)
- ・空蟬 (うつせみ)
- ・撫子 (なでしこ)
- ・面影 (おもかげ)
- ・積雲 (せきうん)
- ・玉簾 (たますだれ)
- ・露草 (つゆくさ)
- ・朝露 (あさつゆ)
- ・蝸 (ひぐらし)
- ・入道雲 (にゅうどうぐも)

## 【9月】

- ・秋扇 (あきおうぎ)
- ・鈴虫 (すずむし)
- ・彼岸花 (ひがなばな)
- ・重陽 (ちょうよう)
- ・秋津 (あきつ)
- ・萩の露 (はぎのつゆ)
- ・秋の水 (あきのみず)
- ・女郎花 (おみなえし)
- ・秋空 (あきぞら)
- ・十六夜 (いざよい)
- ・虫の音 (むしのね)
- ・秋の野 (あきのの)
- ・菊慈童 (きくじどう)
- ・案山子 (かかし)
- ・月の雫 (つきのしずく)
- ・秋の声 (あきのこえ)
- ・砧 (きぬた)
- ・桐一葉 (きりひとは)
- ・野分 (のわけ)
- ・玉兔 (ぎよくと)

## 【10月】

- ・村時雨 (むらしぐれ)
- ・豊年 (ほうねん)
- ・山籠り (やまごもり)
- ・神送り (かみおくり)
- ・露時雨 (つゆしぐれ)
- ・穂波 (ほなみ)
- ・山路の秋 (やまじのあき)
- ・里神楽 (さとかがら)
- ・錦秋 (きんしゅう)
- ・夜長 (よなが)
- ・雲錦 (うんきん)
- ・苫屋 (とまや)
- ・里の秋 (さとのあき)
- ・御所柿 (ごしょがき)
- ・小倉山 (おぐらやま)
- ・晩鐘 (ばんしょう)



## 【11月】

- ・山の錦（やまのにしき）
- ・落穂（おちぼ）
- ・残菊（ざんぎく）
- ・布金（ふこん）
- ・紅葉狩（もみじがり）
- ・唐錦（からにしき）
- ・木守り（きまもり）
- ・吹寄せ（ふきよせ）
- ・梢の錦（こずえのにしき）
- ・吉祥（きっしょう）
- ・木枯らし（こがらし）
- ・鹿の声（しかのこえ）
- ・千秋（せんしゅう）
- ・深山路（みやまじ）
- ・霜柱（しもばしら）
- ・都鳥（みやこどり）

## 【12月】

- ・磯千鳥（いそちどり）
- ・顔見世（かおみせ）
- ・埋火（うずみび）
- ・風花（かざはな）
- ・寒月（かんげつ）
- ・初霜（はつしも）
- ・氷柱（つらら）
- ・札納（ふだおさめ）
- ・陣太鼓（じんたいこ）
- ・煤払い（すすはらい）
- ・千鳥（ちどり）
- ・六花（りっか）
- ・芝の雪（しばのゆき）
- ・蓑虫（みのむし）
- ・去来（きょらい）
- ・臘月（ろうげつ）

## ■一年中使用出来る銘

### 好日（こうじつ）

良い日も悪い日も一日一日が大切な日で、今日こうして茶席に集えることに感謝を込めた銘。また安らかに過ごせるよい日になるようにという願いも込められている。

### 末廣（すえひろ）

末廣は、扇子の別名でもあり、扇子の末が広がる形を将来の繁栄にかけたおめでたい言葉として親しまれている。茶道では、茶杓の銘にとどまらず、花入れかご・釜・水指し・菓子器などの茶道具で、末のほうがしだいに広がった形をしたものも末廣のお道具として好まれて使われている。

### 知足（ちそく）

「足るを知る」何かを我慢することではなく、今置かれている環境がどんな状況であっても幸せに感じることができる事。些細な出来事を幸せに思い、自分が十分過ぎるほど満ち足りていると言う心を取り戻す。

- ・吉祥（きっしょう）
- ・和敬（わけい）
- ・瑞雲（ずいうん）
- ・慶雲（けいうん）
- ・相生（あいおい）
- ・福寿（ふくじゅ）
- ・吉祥（きっしょう）
- ・白鶴（はくつる）

## ■参考

『茶の湯の銘 季節のことば』淡交社編集局（著） 淡交社 2015年9月

『茶道具の銘のはなし』目方宗弘（著） 淡交社 2014年1月

『茶の湯銘 物語のことば』淡交社編集局（著） 淡交社 2013年11月

『茶道 site』2006年 <http://www.sadoukaikan.com/tea/saijiki.html>

